

《基本目標1》「強靱」な水道の構築

主要施策(1) 安定給水の確保

主な取組名 ① 浄・給水場等の更新・整備

主な事業名		ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備事業【計画課】					
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)			
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計	
3,052,883	2,681,311	1,362,492	4,043,803	2,737,593	1,249,481	3,987,074	
達成指標		(ア)ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備の推進			達成状況		達成している
<p>【R5年度事業計画】</p> <p>ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備事業については、これまでに発注した機械・電気設備工事等の着実な進捗を図るとともに、令和4年度より開始した充水・試運転などを引き続き実施し、令和5年度中の稼働に向け、工程管理を適切に行ってまいります。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>これまでに発注した工事等について、着実な進捗を図るとともに、充水・試運転を確実に進め、令和6年3月1日に施設を稼働、通水を開始しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>施設の稼働により、目標を「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>本事業は、令和5年度に施設を稼働したことから、主要施策である安定給水の確保について達成しました。今後は、太陽光発電設備工事などの残工事を進めていきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	—	—		
実績	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働				

主な事業名		栗山浄水場給水場化に係る施設整備事業【計画課】					
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)			
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計	
240,717	64,353	0	64,353	23,916	40,167	64,083	
達成指標		(イ)栗山浄水場給水場化に係る施設整備の推進			達成状況		達成している
<p>【R5年度事業計画】</p> <p>栗山浄水場給水場化に係る施設整備事業については、これまでに発注した浄水施設撤去に係る実施設計業務委託等の着実な進捗を図るとともに、給水場化に係る地質調査業務委託などを発注します。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>令和5年度は、これまでに発注した浄水施設撤去に係る実施設計業務委託等の着実な進捗を図るとともに、当該委託の検討に必要な地質調査業務委託を、計画どおり発注しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>地質調査業務委託を発注したことにより、目標を「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>引き続き、浄水施設撤去に係る実施設計業務委託等の着実な進捗を図るとともに、具体的な撤去方法について決定してまいります。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	基本設計業務委託の完了	実施設計業務委託の発注	地質調査業務委託の発注	浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の完了・浄水施設撤去方法の決定	浄水施設撤去工事の着手		
実績	基本設計業務委託の完了	浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の発注	地質調査業務委託の発注				

主な事業名		浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備【浄水課】					
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)			
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計	
4,750,518	4,469,906	434,572	4,904,478	1,387,389	2,645,175	4,032,564	
達成指標	(ウ) 自家発電設備の増強施設数				達成状況	未達成だが進展している	
<p>【R5年度事業計画】 大規模な停電時においても、安定して水を供給できるように、浄・給水場における非常用自家発電設備の増強(72時間対応へ)を実施します。 令和5年度は、北習志野分場、妙典給水場、成田給水場、北船橋給水場、松戸給水場、沼南給水場、印旛取水場、幕張給水場、福増浄水場、高滝取水場、千葉分場、千葉配水場、大宮分場、船橋給水場における非常用自家発電設備の増強に係る工事に着手し、ちば野菊の里浄水場、北総浄水場、菅田給水場の工事が完了します。</p> <p>【事業の実施状況】 北習志野分場、成田給水場、沼南給水場、印旛取水場、幕張給水場、福増浄水場、高滝取水場、千葉分場、千葉配水場、大宮分場の10施設で増強工事に着手し、北総浄水場、菅田給水場の2施設で自家発電設備の増強が完了しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 増強工事の完了施設数については、ちば野菊の里浄水場で、自家発電設備の試運転に関連する工事の遅れに伴い、増強完了が令和6年度にずれ込んだため、計画していた3施設のうち、2施設の増強完了となり、計画に対する実績は67%となりました。 増強工事の着手予定数については、着手予定であった妙典給水場、北船橋給水場、松戸給水場、船橋給水場の4施設で、入札不調となったことから、工事着手を計画していた14施設のうち、10施設の工事着手となり、計画に対する実績は71%となりました。 以上から、本事業の達成状況は「未達成だが進展している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 入札不調への対策として、発注規模の見直しなどを行い、発注業務を進めてまいります。 その他の施設については、引き続き進捗管理を行って早期完了に向け努めてまいります。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		0施設 /累計 (5施設の 工事着手)	0施設 /累計 (6施設の 工事着手)	3施設 /累計 (左記 14施設の 工事着手)	20施設 /累計	—	
実績		0施設 /累計 (4施設の 工事着手)	0施設 /累計 (2施設の 工事着手)	2施設 /累計 (10施設の 工事着手)			

主な取組名 ② 管路の更新・整備

主な事業名		鋳鉄管更新工事【給水課】					
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)			
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計	
26,300,000	26,610,345	9,322,459	35,932,804	22,641,358	11,156,535	33,797,893	
達成指標	(エ) 小中口径管の更新延長				達成状況	概ね達成している	
<p>【R5年度事業計画】 近い将来に発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備え、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先するとともに、強度が低下するおそれや赤濁水の発生が懸念される管路等について更新します。</p> <p>【事業の実施状況】 令和5年度の実績は、計画の80kmに対し、66.9kmとなりました。(目標に対する実績は、84%)</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 一部入札不調となったことや道路・河川管理者との施工に係る協議に時間を要したこと、想定していない支障物が出てきたことで残置協議が必要となったことなどにより、進捗に遅れが生じ、計画に対する達成実績は84%となっておりますが、事業は進展していることから「概ね達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用や工事の平準化、必要に応じて工事規模の見直しを行うとともに、道路管理者等との綿密な協議・調整を行うなど計画的に実施していきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		80km/年	80km/年	80km/年	80km/年	80km/年	
実績		73.5 km/年	80.0 km/年	66.9 km/年			

主な事業名	大口径管路更新工事（一抔栗山～船高線他）【給水課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
5,292,196	2,502,070	2,032,000	4,534,070	2,541,219	1,506,691	4,047,910
達成指標	(オ) 大口径管路更新の実施			達成状況	進展していない	
<p>【R5 年度事業計画】 ダクタイル鋳鉄管※よりも強度が低い高級鋳鉄管※を使用した大口径管路について、重要度及びバックアップの可否を評価基準とした優先順位を付けて更新を進めます。 令和5年度は、一抔栗山～船高線、一抔園生～登戸線、一抔船高～園生線、園生～小倉線、藤崎～袖ヶ浦団地線の5路線において、計8件の工事に着手します。</p> <p>※ダクタイル鋳鉄管：高級鋳鉄管より管体強度が高く、耐震性に優れている水道管で、現在、県営水道で主に使用している。 ※高級鋳鉄管：昭和5年から昭和46年頃まで製造された水道管で、ダクタイル鋳鉄管より管体強度が弱く、耐震性が低い。県営水道では、昭和40年頃まで布設し、現在でも一部に使用している。</p> <p>【事業の実施状況】 令和5年度は、一抔船高～園生線の1路線において、計2件の工事に着手しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 工事着手を計画していた5路線・計8件の工事のうち、1路線・計2件が計画どおり工事着手となったが、5路線6件については、道路・河川管理者やガス・電気事業者との施工に係る協議等に時間を要したため、工事未着手となり、目標に対する実績は25%となったことから、「進展していない」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 令和5年度に未着手となった5路線6件のうち、3路線4件の工事については、これまで時間を要していた協議が整ったことから、令和6年度中の工事着手を見込んでいます。残り2路線2件の工事については、当初計画していた布設位置に道路管理者が管理している構造物が設置されたことなどから、引き続き、施工等に係る協議・調整を進めていきます。 令和6年度以降に工事着手を計画している工事については、引き続き、道路管理者等と速やかに協議・調整を行うなど、計画的に実施できるよう努めていきます。</p>						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画	3路線・計5件の工事着手	5路線・計7件の工事着手	5路線・計8件の工事着手	4路線・計8件の工事着手	5路線・計9件の工事着手	
実績	2路線・計2件の工事着手	2路線・計3件の工事着手	1路線・計2件の工事着手			

主な事業名	基幹管路の整備（第二木下～柏井導水管）【計画課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
409,561	85,706	49,343	135,049	65,146	61,406	126,552
達成指標	(カ) 基幹管路の整備の推進			達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】 既設導水管を運用しながら代替管路を整備し、老朽化対策・耐震化を図ることで安定給水を確保することを目的として、第二木下～柏井導水管の整備を進めます。令和5年度は、現在実施中である、各工区の実施設計業務委託等の着実な進捗を図っていきます。</p> <p>【事業の実施状況】 令和5年度は、各工区の実施設計業務委託等の進捗管理を行い、計画どおり第8工区の実施設計業務委託を完了しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 第8工区の実施設計業務委託の完了により、目標を「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き、各工区の実施設計業務委託等の着実な進捗を図っていきます。</p>						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施設計業務委託の完了(第3工区)	実施設計業務委託の完了(第5工区)	実施設計業務委託の完了(第8工区)	実施設計業務委託の完了(第6工区・第7工区)	実施設計業務委託の完了(第4工区)	
実績	実施設計業務委託の着手(第6工区・第7工区)	実施設計業務委託の完了(第3工区・第5工区)	実施設計業務委託の完了(第8工区)			

主要施策（2）災害に強い施設整備の推進

主な取組名 ① 浄・給水場等の耐震化の推進

主な事業名	印旛取水場～柏井浄水場間の調圧水槽の耐震化、船橋給水場配水池の耐震化【浄水課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
651,157	726,455	361,288	1,087,743	555,143	304,697	859,840
達成指標	(ア) 設備耐震化工事の実施			達成状況	達成している	
【R5 年度事業計画】 水を送水する際に管の中の圧力を調整している調圧水槽、一時的に貯水し安定した給水を行うための配水池等について、耐震診断および経年劣化等の状況を踏まえた耐震化を進めていきます。 令和5年度は、印旛系1号調圧水槽耐震化工事に着手し、船橋給水場1号配水池耐震化工事を完了します。	計画	R3	R4	R5	R6	R7
【事業の実施状況】 計画通り、印旛系1号調圧水槽耐震化工事に着手し、船橋給水場1号配水池耐震化工事が完了しました。		印旛系2号調圧水槽耐震化工事設計委託の完了	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系1号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の完了 印旛系1号調圧水槽耐震化工事の完了	—
【達成状況の分析及び課題】 事業を計画通り実施したことから、「達成している」と評価しました。	実績	—	船橋給水場1号配水池耐震化工事の着手	船橋給水場1号配水池耐震化工事の完了	—	—
【今後の具体的取組】 着手した工事の令和6年度の完成に向け、適切な進捗管理を実施してまいります。		印旛系2号調圧水槽耐震化工事の着手 船橋給水場1号配水池耐震化工事の着手	印旛系1号調圧水槽耐震化工事の着手 船橋給水場1号配水池耐震化工事の完了	—	—	

主な取組名 ② 管路の耐震化の推進

主な事業名	鋳鉄管更新工事（再掲）【給水課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
26,300,000(再掲)	26,610,345(再掲)	9,322,459(再掲)	35,932,804(再掲)	22,641,358(再掲)	11,156,535(再掲)	33,797,893(再掲)
達成指標	(イ) 湾岸埋立地域の管路更新延長			達成状況	概ね達成している	
【R5 年度事業計画】 東日本大震災の際に液状化が発生し、甚大な被害が生じたことを踏まえ、湾岸埋立地域については、大口径管路から分岐している主要な管路等を中心に耐震化を進めます。	計画	R3	R4	R5	R6	R7
【事業の実施状況】 令和5年度の実績は、計画 26.5km に対し、22.3km となりました。（目標に対する実績は84%）		26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年
【達成状況の分析及び課題】 一部入札不調となったことや道路・河川管理者との施工に係る協議に時間を要したこと、想定していない支障物が出てきたことで残置協議が必要となったことなどにより、進捗に遅れが生じ、計画に対する達成実績は84%となっていますが、事業は進展していることから「概ね達成している」と評価しました。	実績	28.7km /年	28.2km /年	22.3km /年	—	—
【今後の具体的取組】 入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用や工事の平準化、必要に応じて工事規模の見直しを行うとともに、道路管理者等との綿密な協議・調整を行うなど計画的に実施していきます。		—	—	—	—	—

主な事業名		鑄鉄管更新工事（再掲）【給水課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)			
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計	
26,300,000(再掲)	26,610,345(再掲)	9,322,459(再掲)	35,932,804(再掲)	22,641,358(再掲)	11,156,535(再掲)	33,797,893(再掲)	
達成指標	(ウ) 最重要給水施設管路の更新延長				達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】 重要給水施設管路のうち、最重要給水施設に位置づけた「災害拠点病院」及び「災害医療協力病院」並びに「防災拠点」に供給する管路の耐震化を進めます。</p> <p>【事業の実施状況】 令和5年度の実績は、計画の8.0kmに対し、8.2kmとなりました。（目標に対する実績は、103%）</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 実績が計画を上回っていることから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き、首都直下地震等の大規模地震に備え、最重要給水施設に供給する管路の耐震化を優先して進めていきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		2.0km /年	6.0km /年	8.0km /年	8.0km /年	8.0km /年	
実績		1.9km /年	4.5km /年	8.2km /年			

主な事業名		鑄鉄管更新工事（再掲）【給水課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)			
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計	
26,300,000(再掲)	26,610,345(再掲)	9,322,459(再掲)	35,932,804(再掲)	22,641,358(再掲)	11,156,535(再掲)	33,797,893(再掲)	
達成指標	(エ) 小中口径管の更新延長（再掲）				達成状況	概ね達成している	
<p>【R5 年度事業計画】 近い将来に発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備え、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先するとともに、強度が低下するおそれや赤濁水の発生が懸念される管路等について更新します。</p> <p>【事業の実施状況】 令和5年度の実績は、計画の80kmに対し、66.9kmとなりました。（目標に対する実績は、84%）</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 一部入札不調となったことや道路・河川管理者との施工に係る協議に時間を要したこと、想定していない支障物が出てきたことで残置協議が必要となったことなどにより、進捗に遅れが生じ、計画に対する達成実績は84%となっていますが、事業は進展していることから「概ね達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用や工事の平準化、必要に応じて工事規模の見直しを行うとともに、道路管理者等との綿密な協議・調整を行うなど計画的に実施していきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		80km /年	80km /年	80km /年	80km /年	80km /年	
実績		73.5km /年	80.0km /年	66.9 km/年			

主な事業名	大口径管路更新工事（一抔栗山～船高線他）（再掲）【給水課】					
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)		
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計
5,292,196(再掲)	2,502,070(再掲)	2,032,000(再掲)	4,534,070(再掲)	2,541,219(再掲)	1,506,691(再掲)	4,047,910(再掲)
達成指標	(オ) 大口径管路更新の実施（再掲）			達成状況	進展していない	
<p>【R5年度事業計画】 ダクタイル鋳鉄管※よりも強度が低い高級鋳鉄管※を使用した大口径管路について、重要度及びバックアップの可否を評価基準とした優先順位を付けて更新を進めます。 令和5年度は、一抔栗山～船高線、一抔園生～登戸線、一抔船高～園生線、園生～小倉線、藤崎～袖ヶ浦団地線の5路線において、計8件の工事に着手します。</p> <p>※ダクタイル鋳鉄管：高級鋳鉄管より管体強度が高く、耐震性に優れている水道管で、現在、県営水道で主に使用している。 ※高級鋳鉄管：昭和5年から昭和46年頃まで製造された水道管で、ダクタイル鋳鉄管より管体強度が弱く、耐震性が低い。県営水道では、昭和40年頃まで布設し、現在でも一部に使用している。</p> <p>【事業の実施状況】 令和5年度は、一抔船高～園生線の1路線において、計2件の工事に着手しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 工事着手を計画していた5路線・計8件の工事のうち、1路線・計2件が計画どおり工事着手となったが、5路線6件については、道路・河川管理者やガス・電気事業者との施工に係る協議等に時間を要したため、工事未着手となり、目標に対する実績は25%となったことから、「進展していない」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 令和5年度に未着手となった5路線6件のうち、3路線4件の工事については、これまで時間を要していた協議が整ったことから、令和6年度中の工事着手を見込んでいます。残り2路線2件の工事については、当初計画していた布設位置に道路管理者が管理している構造物が設置されたことなどから、引き続き、施工等に係る協議・調整を進めていきます。 令和6年度以降に工事着手を計画している工事については、引き続き、道路管理者等と速やかに協議・調整を行うなど、計画的に実施できるよう努めていきます。</p>						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	3路線・計5件の工事着手	5路線・計7件の工事着手	5路線・計8件の工事着手	4路線・計8件の工事着手	5路線・計9件の工事着手	
実績	2路線・計2件の工事着手	2路線・計3件の工事着手	1路線・計2件の工事着手			

主な事業名	基幹管路の整備（第二木下～柏井導水管）（再掲）【計画課】					
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)		
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計
409,561(再掲)	85,706(再掲)	49,343(再掲)	135,049(再掲)	65,146(再掲)	61,406(再掲)	126,552(再掲)
達成指標	(カ) 基幹管路の整備の推進（再掲）			達成状況	達成している	
<p>【R5年度事業計画】 既設導水管を運用しながら代替管路を整備し、老朽化対策・耐震化を図ることで安定給水を確保することを目的として、第二木下～柏井導水管の整備を進めます。令和5年度は、現在実施中である、各工区の実施設計業務委託等の着実な進捗を図っていきます。</p> <p>【事業の実施状況】 令和5年度は、各工区の実施設計業務委託等の進捗管理を行い、計画どおり、第8工区の実施設計業務委託を完了しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 計画していた第8工区の実施設計業務委託の完了により、目標を「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引続き、各工区の実施設計業務委託等の着実な進捗を図っていきます。</p>						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	実施設計業務委託の完了(第3工区)	実施設計業務委託の完了(第5工区)	実施設計業務委託の完了(第8工区)	実施設計業務委託の完了(第6工区・第7工区)	実施設計業務委託の完了(第4工区)	
実績	実施設計業務委託の着手(第6工区・第7工区)	実施設計業務委託の完了(第3工区・第5工区)	実施設計業務委託の完了(第8工区)			

主な取組名 ③ 停電・浸水対策等の強化

主な事業名		浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備（再掲） 非常用自家発電設備用燃料の確保【浄水課】				
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
4,763,014 (4,750,518 再掲)※	4,482,402 (4,469,906 再掲)	434,572 (434,572 再掲)	4,916,974 (4,904,478 再掲)	1,399,885 (1,387,389 再掲)	2,645,175 (2,645,175 再掲)	4,045,060 (4,032,564 再掲)
達成指標	(キ) 自家発電設備の増強施設数（再掲）			達成状況	未達成だが進展している	
【R5 年度事業計画】 大規模な停電時においても、安定して水を供給できるように、浄・給水場における非常用自家発電設備の増強（72時間対応へ）を実施します。 令和5年度は、北習志野分場、妙典給水場、成田給水場、北船橋給水場、松戸給水場、沼南給水場、印旛取水場、幕張給水場、福増浄水場、高滝取水場、千葉分場、千葉配水場、大宮分場、船橋給水場における非常用自家発電設備の増強に係る工事に着手し、ちば野菊の里浄水場、北総浄水場、菅田給水場の工事が完了します。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	0 施設 / 累計 (5 施設の工事着手)	0 施設 / 累計 (6 施設の工事着手)	3 施設 / 累計 (左記 14 施設の工事着手)	20 施設 / 累計		—
実績	0 施設 / 累計 (4 施設の工事着手)	0 施設 / 累計 (2 施設の工事着手)	2 施設 / 累計 (10 施設の工事着手)			
※一部再掲 浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備（再掲） 4,750,518（千円）						
【事業の実施状況】 北習志野分場、成田給水場、沼南給水場、印旛取水場、幕張給水場、福増浄水場、高滝取水場、千葉分場、千葉配水場、大宮分場の 10 施設で増強工事に着手し、北総浄水場、菅田給水場の 2 施設で自家発電設備の増強が完了しました。						
【達成状況の分析及び課題】 増強工事の完了施設数については、ちば野菊の里浄水場で、自家発電設備の試運転に関連する工事の遅れに伴い、増強完了が令和6年度にずれ込んだため、計画していた3施設のうち、2施設の増強完了となり、計画に対する実績は67%となりました。 増強工事の着手予定数については、着手予定であった妙典給水場、北船橋給水場、松戸給水場、船橋給水場の4施設で、入札不調となったことから、工事着手を計画していた14施設のうち、10施設の工事着手となり、計画に対する実績は71%となりました。 以上から、本事業の達成状況は「未達成だが進展している」と評価しました。						
【今後の具体的取組】 入札不調への対策として、発注規模の見直しなどを行い、発注業務を進めてまいります。 その他の施設については、引き続き進捗管理を行って早期完了に向け努めてまいります。						

主な事業名		計装設備の電源強化、大型土嚢等の設置、防水扉等の設置【浄水課】				
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(ク) 計装設備の電源強化施設数及び浸水対策施設数			達成状況	—	
【R5 年度事業計画】 平成30年に発生した北海道胆振東部地震による大規模停電や令和元年房総半島台風による停電・浸水被害などの状況を踏まえ、非常用自家発電設備の強化及び浸水対策に取り組みました。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	3 施設 / 累計	9 施設 / 累計	—	—	—	
実績	3 施設 / 累計	9 施設 / 累計	—			
【事業の実施状況】 令和4年度で事業は完了しました。						

主要施策（3）危機管理体制の充実

主な取組名 ① 緊急時に備えた体制の充実

主な事業名	非常時対応訓練の実施【計画課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
165	165	0	165	15	0	15
達成指標	非常時対応訓練の実施 (ア) テーマ型訓練の実施 支援協力員との応急給水訓練の実施				達成状況	達成している

【R5 年度事業計画】

「非常時対応訓練」については、1 回目として年度当初に新体制で、初動対応を確認する訓練を行い、2 回目として下半期に、初動対応から対策本部及び現地本部の立上げ、本部会議の運営、情報収集伝達、応急給水・応急復旧の計画作成等、震災対応の一連の訓練を行うことで、災害対応力の向上を図ります。

なお、総務企画課と連携しながら、訓練内容の検討を行います。

「テーマ型訓練」については、各所属が独自にテーマ（停電対応、応急給水等）を定めて実施します。

「支援協力員との応急給水訓練」については、「千葉県企業局水道事業災害時支援協力員制度」に登録している支援協力員を対象として、地震発生時等に、迅速かつ効果的な活動が実施できるよう、応急給水訓練等を実施します。

【事業の実施状況】

「非常時対応訓練」については、6 月と 10 月に計 2 回の訓練を実施することにより、災害対応力の向上を図りました。

「テーマ型訓練」については、給水車や仮設給水栓、折り畳み式給水タンクを活用した応急給水訓練の他、情報伝達訓練、停電対応訓練、自家発電設備の操作訓練等を 121 回実施し、災害対応力の向上を図りました。

「支援協力員との応急給水訓練」については、柏井浄水場において給水車注水作業や、仮設給水栓の組立等、実践的な訓練を実施し、地震発生時等における支援協力体制を強化しました。

【達成状況の分析及び課題】

令和5年度における訓練の達成状況は、いずれも計画回数を達成しているため、「達成している」としました。

【今後の具体的取組】

令和6年度も非常時対応訓練の実施により、災害対応力を向上させるとともに、テーマ型訓練、支援協力員訓練による実践的な訓練に取り組むことで、緊急時に備えた体制を強化してまいります。

		R3	R4	R5	R6	R7
計画	非常時対応訓練	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
	テーマ型訓練	112回/年	112回/年	112回/年	112回/年	112回/年
	支援協力員訓練	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
実績	非常時対応訓練	2回/年	2回/年	2回/年		
	テーマ型訓練	129回/年	120回/年	121回/年		
	支援協力員訓練	1回/年	1回/年	1回/年		

主な事業名		本局新庁舎の建設【財務課】					
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)			
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計	
684,555	694,679	0	694,679	85	690,726	690,811	
達成指標		(イ) 本局新庁舎(仮称)の建設			達成状況		達成している
<p>【R5年度事業計画】 本局新庁舎の建設については、令和7年度の供用開始に向けて、令和4年度末に発注した建築、電気設備、空調設備及び衛生設備の各工事の着実な進捗を図っていきます。</p> <p>【事業の実施状況】 令和5年3月から着手した既存地下構造物の解体が完了し、新築工事に着手しました。 解体作業ではアスベストの含有が確認されたため、アスベスト除去の追加作業を行いました。 前述の追加作業の発生及び労務単価の特例措置の適用により、令和5年度末に増額及び工期延期の変更契約を行いました。 なお、上記除去作業により、事業が繰越となりました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 想定外の事象により予定の出来高には届きませんでしたでしたが、工事の進捗管理は適正に実施されていました。</p> <p>【今後の具体的取組】 受注者と定期的に行っている会議で、工事の状況の報告を受け進捗確認するとともに、必要に応じて助言・指導を行うなど、引き続き適正な進捗管理を実施していきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	基本設計の完了 実施設計の着手	実施設計の完了 建設工事の着手	建設工事の適正な進捗管理	建設工事の適正な進捗管理	新庁舎の供用開始		
実績	基本設計の完了 実施設計の着手	実施設計の完了 建設工事の着手	建設工事の適正な進捗管理				

主な取組名 ② 給水区域内11市等関係機関との連携強化

主な事業名		応急給水等連絡調整会議の定期的な開催【計画課】					
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)			
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	
達成指標		(ウ) 応急給水等連絡調整会議の実施			達成状況		達成している
<p>【R5年度事業計画】 「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を開催し、各市との連絡調整及び情報交換等を行うとともに、令和元年房総半島台風等の教訓を踏まえた対応策に基づく役割分担等を再確認します。</p> <p>【事業の実施状況】 給水区域内11市との「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を5月に開催することにより、相互の役割分担等を再確認し、連携強化を図りました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 連絡調整会議を実施したことから、「達成している」としました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き給水区域内11市と「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を開催し、当局と11市の役割分担等を再確認することで、更なる連携強化を図っていきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	
実績	1回/年	1回/年	1回/年				

主な事業名	給水区域内各市との合同訓練の実施、給水区域内各市が開催する合同訓練への参加【計画課】																							
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)																				
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計																		
0	0	0	0	0	0	0																		
達成指標	(エ) 給水区域内各市との合同訓練の実施			達成状況	達成している																			
<p>【R5 年度事業計画】</p> <p>「給水区域内各市との合同訓練の実施」については、令和元年房総半島台風等の対応を教訓とし、県営水道給水区域内 11 市との連携強化を図るため、「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」での意見交換を踏まえた迅速な情報共有や応急給水の適切な役割分担等に関する訓練を実施します。</p> <p>「給水区域内各市が開催する合同訓練への参加」については、震災時に連携して迅速な応急活動が実施できるよう、給水区域内各市が開催する防災訓練に参加し、応急給水等の訓練を行います。</p> <p>なお、達成指標は、「給水区域内各市との合同訓練の実施」を対象とします。</p>																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>11 回/年</td> <td>11 回/年</td> <td>11 回/年</td> <td>11 回/年</td> <td>11 回/年</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>11 回/年</td> <td>11 回/年</td> <td>11 回/年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								R3	R4	R5	R6	R7	計画	11 回/年	実績	11 回/年	11 回/年	11 回/年						
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年																			
実績	11 回/年	11 回/年	11 回/年																					
<p>【事業の実施状況】</p> <p>「給水区域内各市との合同訓練の実施」については、迅速な情報共有や応急給水等の訓練を7月に11市と共に実施することにより、連携強化を図りました。</p> <p>「給水区域内各市が開催する合同訓練への参加」については、千葉市での九都県市合同防災訓練に参加したほか、鎌ヶ谷市総合防災訓練等に参加しました。</p>																								
<p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>給水区域内各市との合同訓練を実施したことから、「達成している」としました。</p>																								
<p>【今後の具体的取組】</p> <p>引き続き、給水区域内各市との合同訓練を通じて、迅速な情報共有や応急給水の適切な役割分担等を再確認することで、更なる連携強化を図っていきます。</p>																								

《基本目標2》「安全」な水の供給
 主要施策（4）安全で安心な水づくり
 主な取組名 ① 水源の監視・保全

主な事業名	水源の水質調査等の実施【浄水課】																							
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)																				
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計																		
17,642	17,642	0	17,642	16,390	0	16,390																		
達成指標	(ア) 水源調査回数			達成状況	達成している																			
【R5年度事業計画】 当局の水道水源である江戸川、利根川、印旛沼、高滝ダム湖とそれらの主な流入河川及び手賀沼の計34か所について毎月水質調査を実施するとともに、必要に応じて臨時調査を実施します。				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>390回 以上/年</td> <td>390回 以上/年</td> <td>390回 以上/年</td> <td>390回 以上/年</td> <td>390回 以上/年</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>535回/ 年</td> <td>538回/ 年</td> <td>542回/ 年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				R3	R4	R5	R6	R7	計画	390回 以上/年	390回 以上/年	390回 以上/年	390回 以上/年	390回 以上/年	実績	535回/ 年	538回/ 年	542回/ 年		
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	390回 以上/年	390回 以上/年	390回 以上/年	390回 以上/年	390回 以上/年																			
実績	535回/ 年	538回/ 年	542回/ 年																					
【事業の実施状況】 水道水源等の定期的な水質調査を390回実施しました。 また、令和5年度は水道水源において、春期・夏期のかび臭物質濃度上昇や油の流出などの水質異常が発生したことから、臨時調査を152回実施しました。 水源調査回数は定期と臨時を合わせ542回となりました。																								
【達成状況の分析及び課題】 定期調査に加え適宜臨時調査を実施できたことから、「達成している」と評価しました。その結果をもとに粉末活性炭の注入率を調整するなど適切な浄水処理を行うことができました。																								
【今後の具体的取組】 引き続き、水道水源とそれらの主な流入河川等について定期的な水質調査を実施するとともに、水源での水質異常時には必要に応じて臨時調査を実施します。																								

主な事業名	関係機関と連携した監視体制の確保、印旛沼水質保全協議会をはじめとする各協議会等への参加【浄水課】																		
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)															
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計													
0	0	0	0	0	0	0													
達成指標	-			達成状況	-														
【R5年度事業計画】 関係機関と水源水質や事故情報の情報共有により、監視体制の確保を進めます。 印旛沼水質保全協議会をはじめとする各協議会へ参加し、水源の水質保全に努めます。				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td colspan="5" rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>実績</td> </tr> </tbody> </table>				R3	R4	R5	R6	R7	計画	/					実績
	R3	R4	R5	R6	R7														
計画	/																		
実績																			
【事業の実施状況】 各協議会を通じて、水源河川等で水質事故が発生した場合の連絡体制を確保するとともに、国や関係市町村に対して水源保全の推進に関する要望活動を行いました。																			
【今後の具体的取組】 引き続き水源の水質保全に向けて各協議会に参加するとともに、関係機関と連携し水源の監視体制を確保します。																			

主な取組名 ② 高度浄水処理の導入

主な事業名	ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業(再掲)【計画課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
3,052,883(再掲)	2,681,311(再掲)	1,362,492(再掲)	4,043,803(再掲)	2,737,593(再掲)	1,249,481(再掲)	3,987,074(再掲)
達成指標	(イ) ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備の推進(再掲)			達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】 ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業については、これまでに発注した機械・電気設備工事等の着実な進捗を図るとともに、令和4年度より開始した充水・試運転などを引き続き実施し、令和5年度中の稼働に向け、工程管理を適切に行ってまいります。</p> <p>【事業の実施状況】 これまでに発注した工事等について、着実な進捗を図るとともに、充水・試運転を確実に進め、令和6年3月1日に施設を稼働、通水を開始しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 施設の稼働により、目標を「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 本事業は、令和5年度に施設を稼働したことから、主要施策である安定給水の確保について達成しました。今後は、太陽光発電設備工事などの残工事を進めてまいります。</p>		R3	R4	R5	R6	R7
計画	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	—	—	—
実績	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働			

主な取組名 ③ 水質管理の徹底

主な事業名	水安全計画の見直し【浄水課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(ウ) 水安全計画の見直しの実施			達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】 様々な化学物質等による水源水質の異常に対応する管理体制等を予め定めた水安全計画*について見直しを行い、発生が予測されるリスクへの対応を強化します。 ※水安全計画 水源から給水栓に至る全ての段階において、水道水質に悪影響を及ぼす恐れのある危害の原因を明確にし、危害原因を排除するため、重点的かつ継続的に監視を行うべき重要管理点（工程）をあらかじめ定め、管理することで、水の安全性を一層高いレベルで確保する水道システムの管理手法。</p> <p>【事業の実施状況】 水安全計画の運用及び評価を行った結果、計画の修正が必要となる事態は発生しなかったため、統計データの時点修正等軽微な修正を実施しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 水安全計画の見直しを実施したことから「達成している」と評価しました。水安全計画に基づき水質監視及び水質管理を行った結果、水道水質基準を超過する事態は発生しませんでした。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き、水安全計画を適切に運用し、運用に伴い発生する課題等については必要な見直しを実施します。</p>		R3	R4	R5	R6	R7
計画	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水質管理状況等を踏まえた見直し	水質管理状況等を踏まえた見直し	
実績	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し			

主な事業名	水道GLPの認定の更新【浄水課】																							
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)																				
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計																		
0	0	0	0	0	0	0																		
達成指標	(エ) 水道GLPの認定維持			達成状況	達成している																			
<p>【R5 年度事業計画】 水道GLP※を適正に運用し、水質検査の信頼性を確保します。 ※水道GLP（水道水質検査優良試験所規範） 公益社団法人日本水道協会が認定する、水道事業者の水質検査部門及び登録検査機関を対象とした、水道水質検査結果の精度と信頼性を確保するための要求事項。</p> <p>【事業の実施状況】 水道GLPに基づき、水質センター職員に対する教育訓練や精度管理を実施したほか、内部監査を実施し、適正に運用されていることを確認するとともに、外部精度管理においても良好な結果を示すことができました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 水道GLPを適正に運用し、認定の維持・継続ができたことから「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き、水道GLPを適正に運用し、運用に伴い発生する課題等については必要な見直しを実施します。</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>水道GLPの認定の維持・継続</td> <td>水道GLPの認定の維持・継続</td> <td>水道GLPの認定の維持・継続</td> <td>水道GLPの認定の更新</td> <td>水道GLPの認定の維持・継続</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>水道GLPの認定の維持・継続</td> <td>水道GLPの認定の維持・継続</td> <td>水道GLPの認定の維持・継続</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				R3	R4	R5	R6	R7	計画	水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の更新	水道GLPの認定の維持・継続	実績	水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の維持・継続		
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の更新	水道GLPの認定の維持・継続																			
実績	水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の維持・継続																					

主な事業名	水質検査計画の見直し【浄水課】																							
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)																				
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計																		
0	0	0	0	0	0	0																		
達成指標	(オ) 水質検査計画の見直しの実施			達成状況	達成している																			
<p>【R5 年度事業計画】 水質基準の改正等を踏まえた水質検査計画※の更新を行います。 ※水質検査計画 水質検査の項目・場所・頻度のほか、水源の水質状況や、浄水処理で問題となる項目や原因などを記載したもの。水道法施行規則第15条第6項において、水道事業者が策定することが義務付けられている。</p> <p>【事業の実施状況】 ちば野菊の里浄水場第2期施設稼働に伴う栗山浄水場の浄水機能の停止（給水場化）に伴う修正や国の通知に基づく一部の農薬類の目標値の変更など必要な見直しを行い、水質検査計画を令和6年度版に更新しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 水質検査計画の更新を行ったことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き、水質基準の改正等の国の通知や対象物質の検出状況を踏まえ、毎年度必要な見直しを実施します。</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>水質検査計画の更新</td> <td>水質検査計画の更新</td> <td>水質検査計画の更新</td> <td>水質検査計画の更新</td> <td>水質検査計画の更新</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>水質検査計画の更新</td> <td>水質検査計画の更新</td> <td>水質検査計画の更新</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				R3	R4	R5	R6	R7	計画	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	実績	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新		
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新																			
実績	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新																					

主な事業名		水質検査機器の更新【浄水課】								
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)						
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計				
273,788	214,126	0	214,126	194,955	0	194,955				
達成指標	(カ) 水質検査機器の更新の実施				達成状況	達成している				
<p>【R5 年度事業計画】 経年劣化等により検査精度を確保できなくなるおそれのある水質検査機器の更新等を行います。</p> <p>【事業の実施状況】 予定していた30台の水質検査機器を整備しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 調達に関する事務を早期に実施した結果、予定していた機器を整備することができたことから、「達成している」と評価しました</p> <p>【今後の具体的取組】 計画どおりに整備できるよう、調達に関する事務を早期に実施していきます。</p>						R3	R4	R5	R6	R7
計画						水質検査機器 21 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 31 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 30 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 33 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 23 台の整備 (更新・新規)
実績						水質検査機器 13 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 39 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 30 台の整備 (更新・新規)		

主な事業名		水質自動監視装置の更新【浄水課】								
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)						
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計				
895,609	852,028	0	852,028	833,800	0	833,800				
達成指標	(キ) 水質自動監視装置の更新の実施				達成状況	達成している				
<p>【R5 年度事業計画】 水質自動監視装置※（38台）の更新を完了します。 ※水質自動監視装置 日常の水質監視業務に加えて、濁り水の発生などの水質の変化を常時把握し、異常時に速やかに対応するため、給水区域の管路末端に設置している。</p> <p>【事業の実施状況】 水質自動監視装置38台の更新工事を完了しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 計画どおり水質自動監視装置の更新工事を完了したことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 令和5年度に事業を完了しました。</p>						R3	R4	R5	R6	R7
計画						—	水質自動監視装置 38 台の更新着手	水質自動監視装置 38 台の更新完了	—	—
実績						—	水質自動監視装置 38 台の更新着手	水質自動監視装置 38 台の更新完了		

主な事業名		送・配水管の計画的な洗浄【給水課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)			
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計	
221, 148	236, 826	0	236, 826	208, 423	0	208, 423	
達成指標	(ク) 送配水管の計画洗浄延長				達成状況	達成している	
【R5 年度事業計画】		長い管路を使って送られる水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の洗浄を毎年 1,000km 実施します					
【事業の実施状況】		令和5年度の実績は、計画 1,000km に対し、1,378km となりました。(目標に対する実績は、137%)					
【達成状況の分析及び課題】		送・配水管の計画的な洗浄について、計画を上回って行ったことから「達成している」と評価しました。					
【今後の具体的取組】		引き続き、水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の計画的な洗浄を実施していきます。					
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		1,000km	1,000km	1,000km	1,000km	1,000km	
		/年	/年	/年	/年	/年	
実績		1,381km	1,382km	1,378km			
		/年	/年	/年			

主な事業名		貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進【給水課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)			
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計	
41, 071	41, 944	0	41, 944	30, 164	0	30, 164	
達成指標	(ケ) 貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率				達成状況	達成している	
【R5 年度事業計画】		集合住宅やホテル、病院等に見られる貯水槽水道においては、貯水槽施設の適正管理が重要であることから、引き続き、巡回サービス(啓発及び希望者への点検等)により貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。					
		令和3年度から令和7年度までの5か年の対象貯水槽約12,000箇所のうち、令和5年度は約2,300箇所の貯水槽を対象として、適正管理についての啓発活動を実施するとともに、直結給水化を促進します。					
【事業の実施状況】		啓発実施率は計画61%に対し、実績は64%となりました。 直結給水率は計画76.5%に対し、実績は76.6%となりました。					
【達成状況の分析及び課題】		啓発実施率及び直結給水率ともに、計画を達成したため、「達成している」と評価しました。					
【今後の具体的取組】		引き続き、巡回サービスにより貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。					
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	啓発	23%	42%	61%	81%	100%	
	実施率	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)	
実績	直結	75.4%	76.0%	76.5%	77.1%	77.6%	
	給水率						

主要施策（5）おいしい水の供給

主な取組名 ① おいしい水の技術的な取組

主な事業名	残留塩素低減化試験の実施、塩素多点注入方式の導入【計画課】																							
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)																				
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計																		
16,632	14,317	0	14,317	14,317	0	14,317																		
達成指標	(ア) 残留塩素の低減化試験等の実施			達成状況	達成している																			
<p>【R5 年度事業計画】</p> <p>水道水の安全性を確保しながら、水道水のおいしさを損なう原因となる残留塩素を低減するための試験を実施します。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>北総浄水場及び成田給水場の配水区域で残留塩素低減化試験を実施しました。</p> <p>令和5年度の試験結果を受け、令和6年度から最夏期及び夏期における配水残留塩素濃度管理目標値を、北総浄水場で0.10mg/L、成田給水場で0.05mg/L低減します。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>残留塩素低減化試験を計画どおり実施したため、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>お客様に安全でおいしい水をお届けするため、引き続き残留塩素の低減に向けた取組を推進します。</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>低減化試験の実施</td> <td>低減化試験の実施</td> <td>低減化試験の実施</td> <td>低減化試験の実施</td> <td>低減化試験の実施</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>低減化試験の実施</td> <td>低減化試験の実施</td> <td>低減化試験の実施</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				R3	R4	R5	R6	R7	計画	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	実績	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施		
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施																			
実績	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施																					

主な事業名	送・配水管の計画的な洗浄（再掲）【給水課】																							
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)																				
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計																		
221,148 (再掲)	236,826 (再掲)	0 (再掲)	236,826 (再掲)	208,423 (再掲)	0 (再掲)	208,423 (再掲)																		
達成指標	(イ) 送配水管の計画洗浄延長（再掲）			達成状況	達成している																			
<p>【R5 年度事業計画】</p> <p>長い管路を使って送られる水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の洗浄を毎年1,000km実施します。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>令和5年度の実績は、計画1,000kmに対し、1,378kmとなりました。（目標に対する実績は、137%）</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>送・配水管の計画的な洗浄について、計画を上回って行ったことから「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>引き続き、水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の計画的な洗浄を実施していきます。</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>1,000km /年</td> <td>1,000km /年</td> <td>1,000km /年</td> <td>1,000km /年</td> <td>1,000km /年</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,381km /年</td> <td>1,382km /年</td> <td>1,378km /年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				R3	R4	R5	R6	R7	計画	1,000km /年	実績	1,381km /年	1,382km /年	1,378km /年						
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年																			
実績	1,381km /年	1,382km /年	1,378km /年																					

主な事業名		貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進（再掲）【給水課】				
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
41,071(再掲)	41,944(再掲)	0(再掲)	41,944(再掲)	30,164(再掲)	0(再掲)	30,164(再掲)
達成指標	(ウ) 貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率（再掲）			達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】 集合住宅やホテル、病院等に見られる貯水槽水道においては、貯水槽施設の適正管理が重要であることから、引き続き、巡回サービス（啓発及び希望者への点検等）により貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。 令和3年度から令和7年度までの5か年の対象貯水槽約12,000箇所のうち、令和5年度は約2,300箇所の貯水槽を対象として、適正管理についての啓発活動を実施するとともに、直結給水化を促進します。</p> <p>【事業の実施状況】 啓発実施率は計画61%に対し、実績は64%となりました。 直結給水率は計画76.5%に対し、実績は76.6%となりました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 啓発実施率及び直結給水率ともに、計画を達成したため、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き、巡回サービスにより貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。</p>						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画	啓発実施率	23% (累計)	42% (累計)	61% (累計)	81% (累計)	100% (累計)
	直結給水率	75.4%	76.0%	76.5%	77.1%	77.6%
実績	啓発実施率	23% (累計)	43% (累計)	64% (累計)		
	直結給水率	75.7%	76.2%	76.6%		

主な取組名 ② おいしい水のお客様との取組

主な事業名		水道出前講座の開催、オフィシャルサイトの更新【計画課】				
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
11,209	10,594	0	10,594	7,526	0	7,526
達成指標	(エ) イベント等PR活動の実施			達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】 小学校などに出向いて、紙芝居や浄水処理実験など通じて安全でおいしい水をPRする「水道出前講座」を開催します。 水のおいしいクイズや水質検査体験募集の掲載など、おいしい水づくりオフィシャルサイトの更新を適宜実施します。</p> <p>【事業の実施状況】 水道出前講座は32回開催し、2,288人の方に受講いただきました。 オフィシャルサイトにて水のおいしいクイズを毎月出題するとともに、ポタリちゃんの大冒険の動画を掲載するなど、水道水の安全性やおいしさをお客様に理解していただけるよう積極的な広報を心掛けました。また、水質検査体験やおいしい水検定などの募集案内を掲載し、お客様に参加いただけるようPRしました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 水道出前講座とオフィシャルサイトの更新を計画どおり実施したため、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 安全でおいしい水をPRする水道出前講座を継続するとともに、お客様に水道水の安全性やおいしさについて理解していただけるようオフィシャルサイトの充実を図っていきます。</p>						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施
	実績	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施		

主な事業名		水質検査体験の実施、おいしい水検定の実施、おいしい水懇話会の開催【計画課】					
R5年度予算額(千円)			R5年度決算額等(千円)				
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計	
1,865	1,776	0	1,776	1,190	0	1,190	
達成指標	(オ)水質検査体験/おいしい水検定/おいしい水懇話会 実施・開催回数			達成状況	達成している		
<p>【R5年度事業計画】 ご応募いただいたお客様に簡易水質検査キットを送付し、お客様ご自身でお客様宅の水道水の水質検査を実施し、測定結果や水道水のアンケートにお答えいただく「水質検査体験」を実施します。 ご応募いただいたお客様に、オフィシャルサイトを通じて、安全でおいしい水道水全般に関する問題を解いていただくことで、水道水の理解を深めていただく「おいしい水検定」を実施します。 安全でおいしい水づくりについて、客観的なご意見やご要望を得るため、お客様や学識経験者で構成される「おいしい水懇話会」を開催します。</p>							
			R3	R4	R5	R6	R7
計画	水質検査体験	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
	おいしい水検定	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
	おいしい水懇話会	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
実績	水質検査体験	1回/年	1回/年	1回/年			
	おいしい水検定	1回/年	1回/年	1回/年			
	おいしい水懇話会	2回/年	2回/年	2回/年			
<p>【事業の実施状況】 「水質検査体験」では414名、「おいしい水検定」では392名のお客様に参加いただき、水道水の安全性やおいしい水づくりへの取組等について理解を深めていただきました。 また、「おいしい水懇話会」を7月と1月に開催し、安全でおいしい水づくりの取組について意見を頂きました。</p>							
<p>【達成状況の分析及び課題】 水質検査体験、おいしい水検定、おいしい水懇話会を計画どおり実施したため、「達成している」と評価しました。</p>							
<p>【今後の具体的取組】 今後も、「水質検査体験」、「おいしい水検定」など水道水についての理解を深めていただく取組を継続します。また「おいしい水懇話会」等を通じて、お客様からご意見・ご要望などを頂きながら、「安全・おいしい水プロジェクト2021-2025」を推進していきます。</p>							

《基本目標3》お客様からの「信頼」の確保

主要施策（6）お客様サービスの向上

主な取組名 ① 支払方法の多様化や手続き等のオンライン化等

主な事業名	支払方法の多様化、手続き、問い合わせ・御相談のオンライン化等【業務振興課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
316,169	326,777	0	326,777	302,459	0	302,459
達成指標	(ア) 支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況			達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】</p> <p>「千葉県営水道 ICT 等を活用したお客様サービス業務改善方針」に基づく取組として、水道料金の払い忘れの心配のない口座振替払いを多くのお客様にご利用いただくため、口座振替オンライン申込サービスを導入します。</p> <p>また、納期限が過ぎた水道料金を、水道事務所等の支払い窓口に出向くことなく、近隣のコンビニエンスストアで支払いが出来るサービスの導入に向け、受託者の選定やシステム改修等を進めます。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>令和6年1月からインターネットで水道料金等の口座振替申込ができるWeb 口座振替受付を導入しました。</p> <p>また、納期限が過ぎた水道料金を、水道事務所等の支払い窓口に出向くことなく、コンビニ端末で支払える支払い手段の導入に向け、受託者の選定やシステム改修等を実施しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>令和5年度においては、事業計画に掲げた項目について実施したことから「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>令和6年度中にコンビニ端末を利用した支払い手段を導入するとともに、令和7年度の新受付システムの稼働に向け、新受付システムの開発や水道料金システムの改修等を進めてまいります。</p>						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込みWeb 受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	新受付システムの稼働	
実績	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込みWeb 受付導入			

主な取組名 ② 「お客様の声」を活かした事業運営（広報・広聴の充実）

主な事業名	アンケート調査の実施【業務振興課】																							
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)																				
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計																		
2,275	2,194	0	2,194	1,524	0	1,524																		
達成指標	(イ) アンケート情報収集割合			達成状況	達成している																			
<p>【R5 年度事業計画】 給水人口 1,000 人あたりの、1 年間に実施したアンケート調査への回答人数の割合（＝情報収集割合）が所定の数を上回ることを計画の目標としています。 これを達成するため、県営水道利用者から選出した 600 名のモニターに対してインターネット上で年 4 回のアンケート調査を行うほか、まちかど水道コーナーのイベント来場者や浄水場見学会の参加者に対し、アンケート調査を実施します。また、電子申請サービスを活用したインターネットアンケート調査等を実施し、常時お客様からの意見を聴取できる体制を維持します。</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>1.87 人/ 千人 (年)</td> <td>1.87 人/ 千人 (年)</td> <td>1.87 人/ 千人 (年)</td> <td>1.87 人/ 千人 (年)</td> <td>1.87 人/ 千人 (年)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0.91 人/ 千人(年)</td> <td>0.94 人/ 千人(年)</td> <td>1.95 人/ 千人(年)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				R3	R4	R5	R6	R7	計画	1.87 人/ 千人 (年)	実績	0.91 人/ 千人(年)	0.94 人/ 千人(年)	1.95 人/ 千人(年)						
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)																			
実績	0.91 人/ 千人(年)	0.94 人/ 千人(年)	1.95 人/ 千人(年)																					
<p>【事業の実施状況】 インターネットモニターに対するアンケート調査（4 回）、まちかど水道コーナーアンケート（6 回）、ちば県水 Web アンケート（ちば電子申請サービス）及び各広報イベントでのアンケート調査を実施しました。</p>																								
<p>【達成状況の分析及び課題】 ・インターネットモニターアンケート 2,066 名分 ・まちかど水道コーナーアンケート 1,567 名分 ・その他アンケート 2,369 名分（水需要アンケート 1,426 名、おいしい水アンケート 414 名、エコメッセ 169 名 等） 合計 6,002 名分のアンケートを収集したことにより、情報収集割合が「1.95 人/千人」となったことから、「達成している」と評価しました。（6,002 名分÷3,072,430 人（給水人口）×1,000≒1.95）</p>																								
<p>【今後の具体的取組】 令和 5 年度と同様に、インターネットモニターに対するアンケート調査、まちかど水道コーナーアンケート及び各広報イベントでのアンケート調査等を実施するとともに、局広報誌「県水だより」の読者を対象としたアンケートを新たに導入し、既存のちば県水 Web アンケートはこれに統合します。</p>																								

主な事業名		「お客様の声」の集計・分析及び各所属へのフィードバック【業務振興課】					
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)			
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	
達成指標	(ウ)業務改善数				達成状況	達成している	
<p>【R5年度事業計画】 広聴相談窓口などを通じて寄せられる様々な「お客様の声」を迅速かつ的確に集計・分析し、速やかに関係部門にフィードバックして活用することにより、「お客様の声」を事業運営に役立てていきます。 また、職員自ら発案することによっても、お客様の満足度を向上できるように、現在の業務のやり方を改善していきます。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道料金の口座振替に対応できるネット銀行の導入 水道出前講座の申込方法の多様化（Webの申込の導入） 水道料金等の口座振替Web申込サービスの導入 発信力の向上を目的とした、県営水道「ポタリちゃんX」アカウントの「県広報X」への統合 局ホームページ内のリンク切れ解消に向けた取組（本局各課への周知） <p>【達成状況の分析及び課題】 改善数が計画に掲げた目標と同数であることから「達成している」と評価しました。 今後も継続して改善を進めていきますが、お客様から寄せられる「要望・意見」の中には改善に際して新たな費用負担が発生するものもあることから、各事業の改善が進む中において、新たな予算措置の必要が生じる可能性があります。</p> <p>【今後の具体的取組】 今後もお客様の声を事業運営に役立てていくとともに、職員自ら発案する等の方法により、業務改善を行っていきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		5業務 /年	5業務 /年	5業務 /年	5業務 /年	5業務 /年	
実績		5業務 /年	5業務 /年	5業務 /年			

主な事業名		新たな広聴手段の検討【業務振興課】					
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)			
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	
達成指標	新たな広聴手段の検討と実施				達成状況	-	
<p>【R5年度事業計画】 お客様の視点に立った水道事業の運営のためには、お客様の求めていることを的確に把握することが不可欠であることから、現在の広聴相談窓口（県水お客様センターや水道事務所での電話受付、県庁HPでのメール受付等）及び各種アンケート調査に加えて、時代の流れに即した新たな広聴手段を検討します。</p> <p>【事業の実施状況】 令和3年度に策定した「千葉県営水道ICT等を活用したお客様サービス業務改善方針」で令和7年度に稼働することとしているマイポータルなどを新たな広聴手段として活用することについて、継続して検討を行いました。</p> <p>【今後の具体的取組】 マイポータルを活用する新たな広聴手段の実施に向け、具体的な検討を進めていきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画					マイポータルなどを活用した新たな広聴手段の設計	マイポータルなどを活用した新たな広聴手段の実施	
実績							

主な事業名	県水だよりやホームページの内容充実、各種媒体（新聞、テレビ、ラジオ、SNS など）を用いた広報【業務振興課・総務企画課】																						
R5 年度予算額(千円)			R5 年度決算額等(千円)																				
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計																	
45,528	44,167	0	44,167	41,833	0	41,833																	
達成指標	(エ) 広報活動の改善状況			達成状況	達成している																		
【R5 年度事業計画】 広報紙「県水だより」について、各所属の意見を取りまとめ、その時に発信すべき情報を掲載するとともに、お客様の要望を踏まえた記事の掲載や、写真を使用した紙面作りなどの創意工夫を行い、内容の充実を図ります。 千葉県営水道ホームページについて、見出し項目の整理やコンテンツの見直しを行い、わかりやすいホームページ作りに取り組みます。 千葉県営水道公式 X (旧 Twitter) において、当局の事業やイベント等の情報を積極的に発信するとともに、新聞、テレビ、ラジオなど各種広報媒体を効果的に組み合わせた広報活動を実施します。 また、令和4年度における県営水道の事業概要と関係資料を取りまとめた「水道事業年報」や、環境施策の取組と成果について取りまとめた「環境報告書」などを作成し、水道事業に対するお客様のご理解とご協力を得ることを目指します。				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> <td>「県水だより」「ホームページ」のわかりやすさの改善、「公式 X」の県広報 X との統合</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			R3	R4	R5	R6	R7	計画	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	実績	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	「県水だより」「ホームページ」のわかりやすさの改善、「公式 X」の県広報 X との統合		
	R3	R4	R5	R6	R7																		
計画	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善																		
実績	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	「県水だより」「ホームページ」のわかりやすさの改善、「公式 X」の県広報 X との統合																				
【事業の実施状況】 ・「県水だより」は、お客様からご意見のあった「わかりやすい文章表現」になるよう編集したほか、紙面づくりの創意工夫を行い、計4回発行しました。 ・「ホームページ」においては、見やすいページ構成となるよう見出しの設置や、文章の要点をわかりやすいように強調する等の工夫を行うとともに、リンク切れの対応を実施しました。 ・「千葉県営水道公式 X (旧 Twitter)」においては、イベントに関する情報を中心に様々な情報を発信しましたが、より多くのお客様に当局の水道水や事業についてお伝えするため、令和6年2月末に運用を終了し、千葉県広報 X への統合を行い、広報効果のさらなる向上を図りました。 (アカウント名：ポタリちゃん (@potarichan) →千葉県広報 X (@chibaken_kouhou)) (フォロワー数 (令和5年12月時点) 902人 3.1万人) ・対面イベントとして、「浄水場見学会」(水道週間35名、夏休み44名、小学校社会科見学69回/計4,618名)や、桜の季節見学会(栗山浄水場134名)、各地の地域まつりのブースで行う「水道街頭PR」(6か所/計1,880名)などを実施しました。 ・「水道事業年報」においては、作成、配布(局内：36か所、県庁・図書館・水道事業体等の局外：54か所)、ホームページでの公表を実施しました。 ・「環境報告書」においては、ホームページでの公表を実施しました。																							
【達成状況の分析及び課題】 お客様のご意見を踏まえた「県水だより」及び「ホームページ」のわかりやすさの改善と、「公式 X」を千葉県広報 X と統合を行い、幅広いお客様への広報活動を実施したため、「達成している」と評価しました。 令和5年度のお客様からのご意見として「県水だより」では「興味のある記事が少ない」、「ホームページ」では「目的の場所にすぐ行けるようになってほしい」というものが多く寄せられました。																							
【今後の具体的取組】 「県水だより」及び「ホームページ」では、当局の取組をお客様にわかりやすく伝えるとともに、興味を持っていただけるよう構成等の見直しを検討し、必要かつ正確な情報の発信に努めます。																							

主な事業名		災害時における適切な情報発信【業務振興課】																		
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)																
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計														
0	0	0	0	0	0	0	0													
達成指標	—				達成状況	—														
【R5 年度事業計画】		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td colspan="5" rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>実績</td> </tr> </tbody> </table>							R3	R4	R5	R6	R7	計画	/					実績
	R3	R4	R5	R6	R7															
計画	/																			
実績																				
<p>災害が発生した場合、「企業局水道事業震災対策基本計画」等に基づき、必要に応じて、新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミへの情報提供や、ホームページへの掲載等による広報活動を行うと同時に、住民からの情報提供や問い合わせ等に対し、適切な広聴活動を行います。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>給水区域内において停電等が発生した際、千葉県営水道ホームページ内「緊急情報ページ」や「千葉県営水道公式 X(旧 Twitter)」を活用した情報提供を行いました。また、災害がない場合でも、緊急時に役立つ情報を常時掲載しています。</p> <p>なお、「千葉県営水道公式 X(旧 Twitter)」は、広報効果のさらなる向上を図るため、令和6年2月末に運用を終了し、「千葉県広報 X」への統合を行いました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>令和6年度は、さらに「ホームページ」や「千葉県広報 X」の活用を進めるとともに、関係課と連携し、災害時に、より速やかに情報提供を行ってまいります。</p>																				

主要施策（7）大規模事業体の責務と社会貢献

主な取組名 ① 県内水道の統合・広域連携

主な事業名	九十九里・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合に向けた協議、 県営水道給水地域の水道事業の在り方に関する協議【総務企画課】									
R5 年度予算額(千円)			R5 年度決算額等(千円)							
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計				
0	0	0	0	0	0	0				
達成指標	—			達成状況	—					
【R5 年度事業計画】	<p>県（知事部局）が推進する九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合について、引き続き関係機関と連携しながら、統合に向けた協議を進めます。</p> <p>県（知事部局）を中心に検討している県営水道給水地域の水道事業の在り方について、引き続き当該地域の水道事業体等と連携しながら、検討を進めます。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合については、令和4年4月に設置された「九十九里・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合協議会」に当局も参画しており、令和5年度は同会議が3回開催されました。なお、令和6年1月の統合協議会において、動力費高騰等の影響などを踏まえ、施設整備計画や料金体系の在り方などについてさらなる検討を行うため、統合の時期について令和8年4月を目途としたところです。</p> <p>県営水道給水地域の水道事業の在り方については、令和5年度に会議の開催等はありませんでした。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合については、「九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合協議会」に参画し、引き続き、統合に係る協議を進めてまいります。</p> <p>県営水道給水地域の水道事業の在り方については、引き続き、県（知事部局）を中心に当該地域の水道事業体等と連携しながら、「千葉県水道広域化推進プラン」における今後の広域化に係る推進方針に基づき検討を進めてまいります。</p>					R3	R4	R5	R6	R7
計画										
実績										

※本取組の検討主体は知事部局であることから、評価の対象からは除外します。

主な取組名 ② 環境負荷の低減に向けた取組

主な事業名	水運用の効率化、マイクロ水力発電設備、太陽光発電設備の安定的な運用【浄水課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
40,526	39,781	0	39,781	39,326	0	39,326
達成指標	(ア) 再生可能エネルギー発電設備活用による発電量			達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】 配水量の少なくなる夜間における給水ポンプ運転停止等による水運用の効率化や、幕張給水場等に導入したマイクロ水力発電設備、ちば野菊の里浄水場に導入した太陽光発電設備の安定的な運用に取り組むことで、環境負荷の低減を図るとともに、電力消費量の削減を目指します。</p> <p>【事業の実施状況】 マイクロ水力発電設備及び太陽光発電設備を安定的に運用したことにより、令和5年度の発電量は目標の4,056千kWhを上回る4,609千kWhを達成しました。(一般家庭約1,136戸分に相当)</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 マイクロ水力発電設備及び太陽光発電設備による発電量は目標を達成したため、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き、マイクロ水力発電設備及び太陽光発電設備の安定的な運用により、環境負荷の低減を図るとともに、電力消費量の削減を図ります。</p>	R3	R4	R5	R6	R7	
	計画	4,200千kWh以上	4,200千kWh以上	4,056千kWh以上	4,329千kWh以上	4,329千kWh以上
	実績	4,526千kWh	4,499千kWh	4,609千kWh		

主な事業名		資源リサイクルの実施【計画課・浄水課】																																																		
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)																																																
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計																																														
483,056	458,109	0	458,109	330,630	0	330,630																																														
達成指標	(イ) 浄水発生土の再資源化率【浄水課】 再利用可能な建設発生土・建設副産物の再資源化率【計画課】				達成状況	達成している																																														
【R5 年度事業計画】																																																				
<p>浄水処理工程において発生する浄水発生土については、セメント原料等として再資源化します。</p> <p>管路更新工事等において発生する建設発生土については、条件に適合するものは埋め戻し用土として再資源化していきます。</p> <p>管路更新工事等において発生するアスファルト塊及びコンクリート塊については、舗装材等として、再資源化していきます。</p>																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">計画</td> <td>浄水発生土</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>建設発生土</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>建設副産物</td> <td>99%以上</td> <td>99%以上</td> <td>99%以上</td> <td>99%以上</td> <td>99%以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実績</td> <td>浄水発生土</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設発生土</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設副産物</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										R3	R4	R5	R6	R7	計画	浄水発生土	100%	100%	100%	100%	100%	建設発生土	100%	100%	100%	100%	100%	建設副産物	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上	実績	浄水発生土	100%	100%	100%			建設発生土	100%	100%	100%			建設副産物	100%	100%	100%		
		R3	R4	R5	R6	R7																																														
計画	浄水発生土	100%	100%	100%	100%	100%																																														
	建設発生土	100%	100%	100%	100%	100%																																														
	建設副産物	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上																																														
実績	浄水発生土	100%	100%	100%																																																
	建設発生土	100%	100%	100%																																																
	建設副産物	100%	100%	100%																																																
【事業の実施状況】																																																				
<p>浄水発生土は、19,526 トンを全量セメント原料として再資源化しました。</p> <p>建設発生土については、湾岸埋立地域等で発生する含水率が高く再資源化が困難なものを除いた 99,994 m³を全量埋め戻し用土として再資源化しました。</p> <p>建設副産物（アスファルト塊及びコンクリート塊）については、90,659 トンを全量舗装材等として再資源化しました。</p>																																																				
【達成状況の分析及び課題】																																																				
計画通り再資源化を実施したことから、「達成している」と評価しました。																																																				
【今後の具体的取組】																																																				
<p>浄水発生土については、セメント原料等として引き続き全量を再資源化していきます。</p> <p>管路更新工事等において発生する建設発生土については、再資源化の条件に適合するものは埋め戻し用土として利用するとともに、アスファルト等の舗装材及びコンクリート塊については、舗装材等として引き続き再資源化していきます。</p>																																																				

主な取組名 ③ 国際貢献及び他事業体への技術支援

主な事業名	開発途上国への技術支援【計画課】								
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)					
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計			
0	0	0	0	0	0	0			
達成指標	(ウ) 海外水道事業体への技術支援			達成状況	達成している				
<p>【R5 年度事業計画】 JICAの要請を受け平成24年度から行っている東ティモール民主共和国への技術支援や、海外水道事業の研修生を対象とした研修への協力等を実施します。</p> <p>【事業の実施状況】 JICAからの要請を受け、令和4年12月から2年間の任期で職員1名を東ティモール民主共和国に長期派遣し、給水改善に向けた技術支援を行っています。また、令和5年度は職員4名を同国に短期派遣し、浄水場の運転や水質管理に関する技術支援を行いました。</p> <p>さらに、JICAが主催している海外水道事業の研修生を対象とした研修では、講師の派遣や、当局水質センターに研修生を受け入れ、施設見学及び実習等を行いました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 職員の派遣による東ティモール民主共和国への技術支援を行ったこと及び海外水道事業の研修生を対象とした研修で、講師派遣や当局施設の見学等の協力を行ったことから、評価を「達成している」としました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き、JICA等の要請に応じて東ティモール民主共和国への技術支援や海外研修生を対象とした研修に協力し、開発途上国への技術支援を実施していきます。</p>				R3	R4	R5	R6	R7	
				計画	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施
				実績	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施		

主な事業名	水道技術研修の開放による技術支援【計画課】								
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)					
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計			
140	140	0	140	31	0	31			
達成指標	(エ) 県内水道事業体へ開放する研修講座数			達成状況	達成している				
<p>【R5 年度事業計画】 千葉県企業局が行っている水道技術研修について、引き続き当局主催の4講座を県内の全ての水道事業体及び用水供給事業体へ開放し、技術向上を支援します。</p> <p>【事業の実施状況】 当局主催の水道技術研修のうち5講座を、県内全ての43事業体に開放し、25事業体から延べ77名が参加しました。 開放した5講座は、「送配水管工事研修Ⅰ(工事の基礎)」、「浄水処理技術研修」、「水質管理研修」、「技術講座研修(配水管整備工事見学)」及び「技術講座研修(東ティモール民主共和国への国際貢献)」です。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 当局主催の水道技術研修を5講座開放し、県内水道事業体等の技術向上を支援したことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き、県内全ての水道事業体及び用水供給事業体に、当局が行っている水道技術研修(4講座)を開放し、技術向上を支援します。</p>				R3	R4	R5	R6	R7	
				計画	4講座 /年	4講座 /年	4講座 /年	4講座 /年	4講座 /年
				実績	3講座 /年	4講座 /年	5講座 /年		

主要施策（8）運営基盤の強化

主な取組名 ① 職員の育成・確保及び能力開発

主な事業名	水道技術者を育成するための技術研修の実施【計画課】																							
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)																				
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計																		
8,662 (140 再掲)※	8,662 (140 再掲)	0 (0 再掲)	8,662 (140 再掲)	7,266 (31 再掲)	0 (0 再掲)	7,266 (31 再掲)																		
達成指標	(ア) 技術研修等講座数			達成状況	達成している																			
<p>【R5 年度事業計画】 「実践的な技術研修の実施」による技術継承の推進を図るため、千葉県企業局水道技術研修の各講座や、体験を通じて技術を習得する体験型技術研修を実施します。</p> <p>※ 一部再掲 水道技術研修の開放による技術支援 140（千円）</p> <p>【事業の実施状況】 水道技術研修計画（第4次）に基づき、基礎研修 11 講座、実務研修 13 講座、体験型技術研修 4 講座の計 28 講座を実施し、延べ 545 名が受講しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 水道技術研修計画（第4次）に基づき、全ての講座を実施したことに加え、実務研修として「配水管整備工事見学」等の研修を実施したことにより、目標の 22 講座を上回る 28 講座を実施したことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き、水道事業の運営に必要な専門的な知識・経験を有する技術職員の継続的な育成のため、実践的な研修を実施し、技術の継承と技術職員のレベルアップに取り組みます。</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>22 講座 /年</td> <td>22 講座 /年</td> <td>22 講座 /年</td> <td>22 講座 /年</td> <td>22 講座 /年</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>22 講座 /年</td> <td>26 講座 /年</td> <td>28 講座 /年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				R3	R4	R5	R6	R7	計画	22 講座 /年	実績	22 講座 /年	26 講座 /年	28 講座 /年						
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年																			
実績	22 講座 /年	26 講座 /年	28 講座 /年																					

主な事業名	役職や担当業務に応じた効果的な研修、OJT基本計画に基づく組織的なOJTの実施【総務企画課】 接客マナーの向上に向けた取組【業務振興課】																							
R5 年度予算額(千円)			R5 年度決算額等(千円)																					
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計																		
11,165	8,471	0	8,471	6,773	0	6,773																		
達成指標	(イ) 人材育成等を目的とした局独自の研修の実施、改善			達成状況	達成している																			
<p>【R5 年度事業計画】 企業職員にふさわしい人材育成及び職務の遂行に必要な能力開発を行うために、局主催での研修実施をはじめ、知事部局での研修や外部機関の研修に参加させます。 局主催の研修実施にあたっては、内容等の設定を適切に行うとともに、受講者の意見を踏まえるなど、より質の高い研修効果を目指し内容等の見直しを行っていきます。 全職員に接客対応マニュアルを配布するとともに、一人ひとりが自己の接客態度を振り返る接客マナーチェックテストを一斉実施します。 また、外部講師による接客サービス向上研修を継続的に実施します。 さらに、接客サービス推進月間では、各所属に接客サービスについて確認・改善を図るとともに、委託会社への意識啓発を図ります。 局に蓄積されている技術力、現場のノウハウを効果的に継承させるため、OJT基本計画に基づき、OJTの有効な推進を図ります。</p>																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td colspan="5">局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施（毎年度）</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>局独自の研修の継続（1研修不開催）、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施</td> <td>局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施</td> <td>局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								R3	R4	R5	R6	R7	計画	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施（毎年度）					実績	局独自の研修の継続（1研修不開催）、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施		
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施（毎年度）																							
実績	局独自の研修の継続（1研修不開催）、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施																					
<p>【事業の実施状況】 ・令和4年度に引き続き、研修効果等を勘案しながら局主催研修の開催方法及び内容の検討を進め、研修を実施しました。 ・初任者研修については、局職員講師によるオンデマンド配信で実施し、OJT研修（推進責任者研修及び担当者研修）については、研修効果を高めるため対面形式で実施しました。 ・コンプライアンス特別研修については、重点的に意識の向上を図るべきコンプライアンス推進員等は対面形式で実施し、他の職員は職場研修及び総務企画課職員によるオンデマンド配信で研修を実施しました。また、管理者研修（所属長向けコンプライアンス研修）は、前年度の受講者アンケート結果を踏まえたテーマを設定し、引き続き対面形式で実施しました。 ・接客サービス向上のため、「接客対応マニュアルの配布」、「接客サービス向上研修の実施」、動画教材の視聴等による各所属の取組を推進する「接客サービス推進月間での取組」により知識とスキル向上を図り、「接客マナーチェックテスト」において各自が接客態度を振り返り、分析結果を局内共有し活用しました。</p>																								
<p>【達成状況の分析及び課題】 ・研修の対象者・目的等を踏まえ、より質の高い研修効果が得られるよう、研修ごとに開催方法及び内容等を検討し実施することができたことから、「達成している」と評価しました。 ・接客サービス向上研修においては、令和4年度の研修受講者アンケート結果の意見を反映して研修時期を早めたり、参加人数・時間数を適正化する等の見直しを行った上で研修を実施しました。 研修後のアンケートにおいて、理解度や業務での活用度などが5段階評価の「最高」とされた割合が、新規採用職員を対象とした研修では高く、指導的立場の職員を対象とした研修では低い傾向となりました。</p>																								
<p>【今後の具体的取組】 ・引き続き社会情勢等を踏まえた研修の実施を検討するとともに、より質の高い研修効果を目指し、研修内容や研修方法の検討を進めます。 ・接客サービス向上のため、研修受講者アンケート結果の意見をもとに研修内容を見直すことにより、新たな実施方法を検討します。</p>																								

主な事業名	ホームページ・広報誌による情報発信、学校訪問、職場見学会等の実施【総務企画課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
1,396	332	0	332	332	0	332
達成指標	(ウ) 事業運営に必要な執行体制の確保			達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】 事業運営に必要な人員を確保するため、ホームページや局紹介パンフレット等による情報発信、県内外の工業高校等への学校訪問及び職場見学会を開催するなどの取り組みを行います。</p> <p>【事業の実施状況】 ・令和4年度に引き続き、県内外の工業高校等への訪問や職場見学会の開催などの採用活動を行いました。 ・民間ウェブサイトへの掲載や、全国の大学及び工業高校等への採用案内の送付等により、採用情報の周知を行いました。 ・採用選考では、民間企業経験者を3名採用したほか、知事部局等との積極的な人材交流を行い、年齢構成のバランスにも配慮しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 ・学校訪問等の職員採用活動を行ったほか、知事部局等との積極的な人材交流などを行い、事業運営に必要な執行体制を確保できたことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 ・今後も他自治体等の厳しい人材獲得競争が見込まれることから、引き続き各種広報媒体の活用や学校訪問等による計画的な職員採用活動を行うとともに、職員の再任用や知事部局等との積極的な人材交流に努めていきます。</p>						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	新規採用や知事部局との人事交流等の実施(毎年度)					
実績	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保			

主な取組名 ② ICTや民間活力の活用による業務の効率化

主な事業名	支払方法の多様化/手続き、問い合わせ・御相談のオンライン化等(再掲)【業務振興課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
316,169(再掲)	326,777(再掲)	0(再掲)	326,777(再掲)	302,459(再掲)	0(再掲)	302,459(再掲)
達成指標	(エ) 支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況(再掲)			達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】 「千葉県営水道 ICT 等を活用したお客様サービス業務改善方針」に基づく取組として、水道料金の払い忘れの心配のない口座振替払いを多くのお客様にご利用いただくため、口座振替オンライン申込サービスを導入します。 また、納期限が過ぎた水道料金を、水道事務所等の支払い窓口に出向くことなく、近隣のコンビニエンスストアで支払いが出来るサービスの導入に向け、受託者の選定やシステム改修等を進めます。</p> <p>【事業の実施状況】 令和6年1月からインターネットで水道料金等の口座振替申込ができるWeb口座振替受付を導入しました。 また、納期限が過ぎた水道料金を、水道事務所等の支払い窓口に出向くことなく、コンビニ端末で支払える支払い手段の導入に向け、受託者の選定やシステム改修等を実施しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 令和5年度においては、事業計画に掲げた項目について実施したことから「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 令和6年度中にコンビニ端末を利用した支払い手段を導入するとともに、令和7年度の新受付システムの稼働に向け、新受付システムの開発や水道料金システムの改修等を進めてまいります。</p>						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込みWeb受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	新受付システムの稼働	
実績	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込みWeb受付導入			

基本目標3-施策(8)

主な事業名		ICT（情報通信技術）等の活用による業務の効率化に向けた検討【総務企画課】					
R5年度予算額(千円)				R5年度決算額等(千円)			
R5当初予算	R5最終予算	R4→R5繰越	計	決算額	R5→R6繰越	計	
3,069	3,069	0	3,069	2,043	0	2,043	
達成指標	(オ) ICT（情報通信技術）等を活用した業務の実施と更なる効率化の検討				達成状況	達成している	
<p>【R5年度事業計画】 令和3年度、局内アンケートを実施し、また、先進技術等の情報収集を行いました。その結果を踏まえ、令和4年度、業務上の課題を抽出し、対応方針を検討しました。 令和5年度は、ウェアラブルカメラを導入し、浄・給水場業務に活用する他、県（知事部局）の動向に合わせ、ローコード開発ツールを導入します。 併せて、上記の機器等の導入結果や県（知事部局）の動向を踏まえ、ICT（情報通信技術）の利活用による業務の効率化に向けて検討を進めます。</p> <p>【事業の実施状況】 令和4年度に実証実験を行ったウェアラブルカメラ（※）について、浄・給水場、水道事務所等で試行導入しました。 また、令和4年度に引き続き、ローコード開発ツール（※）を活用した幕張庁舎での郵便物集計システムを運用しました。</p> <p>※ ウェアラブルカメラ：現場で装着・設置して撮影した映像を遠隔からリアルタイムで確認・会話できるクラウド録画型カメラ ※ ローコード開発ツール：クラウド上で様々な職員が同時にデータを閲覧、編集できるデータベース型の業務システム（アプリ）</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 令和4年度の実証実験の結果を踏まえ、ウェアラブルカメラ等の試行的導入を開始したことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 令和5年度に試行的に導入したウェアラブルカメラの成果の評価・検証等を進め、その結果を各所属へ展開し、本格的な導入を目指します。また、引き続きローコード開発ツールの活用による業務効率化を図ります。 併せて、県（知事部局）の動向を踏まえ、ICT（情報通信技術）の利活用による業務の効率化に向けて検討を進めます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	検討の実施	検討の実施	機器等の試行的導入	ウェアラブルカメラの本格的導入	その他検討の実施		
実績	検討の実施	検討の実施・機器の実証実験等	機器等の試行的導入				

主な事業名 配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託/D B等の新たな契約手法の調査・検討【給水課】						
R5 年度予算額(千円) ※铸铁管更新工事 (再掲)				R5 年度決算額等(千円) ※铸铁管更新工事 (再掲)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
26,300,000 (再掲)	26,610,345 (再掲)	9,322,459 (再掲)	35,932,804 (再掲)	22,641,358 (再掲)	11,156,535 (再掲)	33,797,893 (再掲)
達成指標	(カ) 配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施			達成状況	達成している	
【R5 年度事業計画】 増加する管路の更新・整備需要に対応するため、監督職員が行う工程管理や工事現場における立会、施工状況の確認等の業務を可能な限り民間業者に委託することにより業務の効率化を図るとともに、新たな契約手法として令和4年度に試行導入した概算数量設計発注方式について、引き続き試行工事を実施します。						
【事業の実施状況】 令和5年度は、配水管整備工事において施工管理業務の民間委託を14本実施しました。 また、令和4年度から試行導入している概算数量設計発注方式について、試行設計業務委託を6本、試行工事を6本発注しました。						
【達成状況の分析及び課題】 施工管理業務委託の実施により業務の効率化が図られたことから、「達成している」と評価しました。						
【今後の具体的取組】 今後も、民間活力を活用した業務の効率化を図るとともに、概算数量設計発注方式においては、引き続き試行工事を実施していきます。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施 (毎年度)					
実績	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施			

主な取組名 ③ システムの安定運用及びセキュリティ対策の強化

主な事業名 情報システム及びネットワークの整備【業務振興課】						
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
3,465,158 (203,811 再掲)※	4,055,174 (107,169 再掲)	308,000 (0 再掲)	4,363,174 (107,169 再掲)	4,215,429 (107,169 再掲)	0 (0 再掲)	4,215,429 (107,169 再掲)
達成指標	(キ) 情報システム等の整備件数			達成状況	達成している	
【R5 年度事業計画】 情報システムの安定運用及び情報資産の安全性確保を図るため、機器等の更新及びシステム改修を行うとともに適切な維持管理を実施します。 ・局内共通プリンタの更新 ・入退室管理機器等の更新 等						
※一部再掲 水道料金システム 203,811 (千円) 3 (6) ①支払方法の多様化や手続き等のオンライン化等						
【事業の実施状況】 局内共通プリンタの更新や入退室管理機器等の更新など、6件の整備を実施しました。						
【達成状況の分析及び課題】 計画通りに情報システムを整備したことから、「達成している」と評価しました。						
【今後の具体的取組】 新受付システムの開発や総合財務会計システムの改修、管路情報管理システムの更新など、引き続き安定的な情報システムの運用に向けた整備を行います。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	18 件/年	13 件/年	6 件/年	4 件/年	5 件/年	
実績	17 件/年	13 件/年	6 件/年			

主な事業名		情報セキュリティ研修の実施【業務振興課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)			
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	
達成指標	(ク) 情報セキュリティ研修等受講者数				達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】 水道サービスの安全かつ持続的な提供を確保するため、職員のセキュリティに対するさらなる知識の習得や意識の向上を図る研修等を実施し、個人情報等の保護及び不正利用の防止に取り組めます。</p> <p>【事業の実施状況】 情報セキュリティの知識や意識の向上・改善に向けた情報セキュリティ研修等を情報セキュリティ担当者及び管理職職員、新任職員など多くの職員へ実施した結果、延べ 585 人が受講しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 職員への情報セキュリティ研修について、計画以上の受講者があったこと、受講後アンケートの回答者の約 9 割が研修を理解しセキュリティ意識が向上したと回答したことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き職員の情報セキュリティの知識や意識の向上・改善に向けた情報セキュリティ研修を実施します。また、研修内容については、最新のセキュリティインシデントの事例やコンピューターウイルス感染事例について扱い、現実に向けた内容となるよう努めます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年	
実績	198 名 /年	231 名 /年	585 名 /年				

主な事業名		ネットワークの監視【業務振興課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)			
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	
達成指標	(ケ) 障害等への即日の初動対応率				達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】 県営水道では、情報システムを幅広い分野で活用しており、システム障害等は業務の継続性に大きな影響を及ぼすことから、ネットワークの監視を行っております。監視の結果、計画停電等の既知の障害等を除き、業務の継続に影響のあるネットワークの性能低下や障害等を検知した場合は、初動対応を即日実施し、障害等の影響の最小化を図ります。</p> <p>【事業の実施状況】 監視サーバを用いることにより、通信機器における動作状況を常時監視しています。監視業務は外部委託により 24 時間 365 日継続して実施しています。異常があった際は職員や保守業務委託者による復旧を行っています。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 ネットワークの異常を検知した際には、原因切り分けを速やかに行い、可用性を確保したことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続きネットワーク監視を行うとともに、障害時には速やかに対応を実施し、ネットワークの安定運用に努めます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	100% /年	100% /年	100% /年	100% /年	100% /年	100% /年	
実績	100% /年	100% /年	100% /年				

主な取組名 ④ 健全経営の推進

主な事業名	経費の削減【総務企画課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(コ) 経費の削減			達成状況	達成している	
<p>【R5 年度事業計画】</p> <p>健全経営を維持しながら、今後、増大する水道施設の更新と耐震化を実施していくため、品質確保に留意したコスト削減を進めていきます。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中口径管の更新工事において、発注規模の大型化により、契約事務量の低減化に努めるほか、長寿命管であるGX管を使用することにより、ライフサイクルコストの低減化に取り組みました。 ・事務用品等について一括調達を行った他、IT関連機器についても統一化・集約化を推進し、一括調達することで調達コストと契約事務の低減化を図りました。 ・入札に係る審査会や経営戦略会議など、会議等で使用する資料のペーパーレスを推進し、印刷事務負担の低減とコピー用紙等の削減を図りました。 ・マイクロ水力発電及び太陽光発電を安定的に運用したことにより、電力消費量（電気料金）の削減を図りました。 ・研修の実施方法を、集合研修から動画視聴研修へ変更したことに伴い、交通費の削減を図りました。 <p><削減効果の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化に伴う印刷用紙の削減： <ul style="list-style-type: none"> ＜入札に係る審査会＞約 25,000 枚/年、＜経営戦略会議＞約 12,000 枚、＜総合評価技術審査会＞約 4,500 枚/年 等 ・マイクロ水力発電等の運用による電力消費量の削減：4,609 千 kWh を発電（一般家庭 1,136 戸分に相当） ・研修の実施方法の変更に伴う交通費の削減：交通費 69,000 円 <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>上記の取組を実施することにより、品質確保に留意したコスト削減を実施するとともに、経常費用の圧縮に努めたことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>引き続き、健全経営を維持しながら、水道施設の更新と耐震化を実施していくため、品質確保に留意したコスト削減及び業務効率化の取組を行っていきます。</p>	R3	R4	R5	R6	R7	
	計画	工事コスト・ランニングコストの縮減 経常費用の圧縮（毎年度）				
実績	品質確保に留意したコスト削減に努めた	品質確保に留意したコスト削減に努めた	品質確保に留意したコスト削減に努めた			

主な事業名	企業債の活用及び適正管理、国への要望活動【財務課】					
R5 年度予算額(千円)				R5 年度決算額等(千円)		
R5 当初予算	R5 最終予算	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
25,000,000	25,000,000	11,000,000	36,000,000	31,000,000	5,000,000	36,000,000

達成指標	—	達成状況	—
------	---	------	---

【R5 年度事業計画】

今後、水道施設の更新需要の増大に伴い、建設改良費の増大が見込まれる中、更新財源の確保を図っていく必要があることから、企業債について、長期的な収支見通しをもとに、金利の動向、企業債残高、資金残高等に留意しつつ、活用を図っていきます。

- ・令和5年度起債見込（当初予算）250 億円

また、企業債の借入による将来負担の軽減を図るため、平成19年度から平成24年度にかけて実施された公的資金補償金免除繰上償還制度の復活や要件の緩和を目指し、公益社団法人日本水道協会の総会などを通じ、国への要望活動を行っていきます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画					
実績					

【事業の実施状況】

令和5年度最終予算 360 億円に対し、310 億円分の企業債を発行しました。充当対象となる建設事業の繰越に伴い、令和5年度中の起債を一部見送ったため、繰越分については繰越事業が完了する令和6年度中に発行予定です。

企業債残高は令和5年度末で1,571 億円となり、中期経営計画における令和5年度末企業債残高である1,717 億円を146 億円下回っています。

また、総務省が作成している「経営比較分析表」の指標の1つである「企業債残高対給水収益比率」は、令和5年度末に2.67 倍となりました。前年度の数値ではありますが、令和4年度の類似団体平均値の2.51 倍と比べてやや高い水準となりました。

○起債状況

単位：百万円

		R3決算	R4決算	R5決算	R6見込み	R7見込み
残高	収支見通し	149,061	159,155	171,742	180,443	191,625
	実績	138,561	139,155	157,118	187,028	
	計画R7残高との差	53,064	52,470	34,507	4,597	

【今後の具体的取組】

水道施設の更新需要や、労務単価及び資材単価の増大に伴い、建設改良費が増大する中、更新財源の確保を図っていく必要があることから、企業債について、金利の動向、企業債残高、資金残高等に留意しつつ、活用を図っていきます。

また、企業債の借入による将来負担の軽減を図るため、公的資金補償金免除繰上償還制度の復活や要件の緩和を目指し、公益社団法人日本水道協会の総会などを通じ、国への要望活動を行っていきます。